

より良い関係づくりのヒント

日野郡男女共同参画連絡会研修会



「相手に何を伝えたいかが重要」と佐藤さん

12月1日、山村開発センターで、

男女共同参画研修会（日野郡男女共同参画連絡会主催）が開かれました。

研修会では、「パートナーとのより良い関係づくり」と題し、鳥取県人権教育アドバイザーの佐藤淳子さんが講演を行いました。

「近い関係であればあるほど、づもりのつもり」が積み重なり、そんなはずじゃなかった」となる」と佐藤さん。また、「固定的なイメージや意識を取り払い、適度な距離感でコミュニケーションをとることがより良い関係を生み出す」と、その人らしさを認められることが大切だと話しました。

宇宙を舞台に大活躍

お芝居くらぶさん・ふいーるど冬公演



息の合った掛け合いで会場を魅了

町内で活動している劇団、お芝居くらぶさん・ふいーるど冬の冬公演「E.P.I.T.A.P.h〜墓碑銘〜」が、12月2日の昼と夜の2回、町文化センター・ホール森の音楽隊で上演されました。

今回は、遠い未来の宇宙船を舞台にしたSF作品。50年前に廃棄されたはずの宇宙ステーションで見つかった「奇跡の生存者」の謎に、勇敢な宇宙船の艦長と頼もしい仲間たちが立ち向かいます。

来年には設立20周年を迎える同劇団。今後の活躍が楽しみです。

やさしい音楽と楽しいおはなし

人形劇団ひぽぼたあむ「チップとチョコ」



日常生活の何気ない出来事をチップとチョコが楽しく愉快地に過ごすストーリー

子どもたちの豊かな感性を育てたいと、町内で活動する「親子でアートを楽しむ会おひさま」主催で、10月8日、人形劇団ひぽぼたあむによる「チップとチョコ」が上演されました。

当日は、町内外から75人の親子が参加。チップとチョコの子犬の兄妹が繰り広げる物語に、「とても幸せな時間でした」「日常の何気ない出来事が楽しく描かれていた。兄妹っていいですね」といった感想が聞かれ、楽しいひとときを過ごした様子でした。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第65回

「とんど」とは？

「とんどさん」考

あつという間にもう年の瀬となりました。お正月ももうすぐです。

年が明け、小正月（1月15日）にお正月のしめ飾りや書初めなどを焚き上げて無病息災や豊作を祈る行事の事を、日野町では「とんどさん」と呼びますね。

この風習、全国的にみられるものですが、呼び名は「どんと（どんど）焼き」と「とんど」「とうどう」「さいと焼き」「さぎつつちよ」などさまざま。

「とんど」の由来は諸説あ

り、「尊とや、尊と」と囃し立てて燃やしたから」というものや、「どんどん燃やすから」というものもあります。

その中で気になったのは、「唐土（中国）」の邪気払いの行事が伝来したから」という説です。思えば、1月7日の七草がゆを作るときに「七草なすな、唐土の鳥がー」と歌いながら七草をトントンたたく風習がありますよね。「正月」と「唐土」、不思議な因縁があるのかもしみません。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

